



栄区社会福祉保健ボランティア情報誌

発行 社会福祉法人横浜市栄区社会福祉協議会
栄区桂町279-29 栄区福祉保健活動拠点内
☎：894-8521 FAX：892-8974
E-mail：office@sakaeku-shakyo.jp
URL：http://www.sakaeku-shakyo.jp

栄区承認番号33号

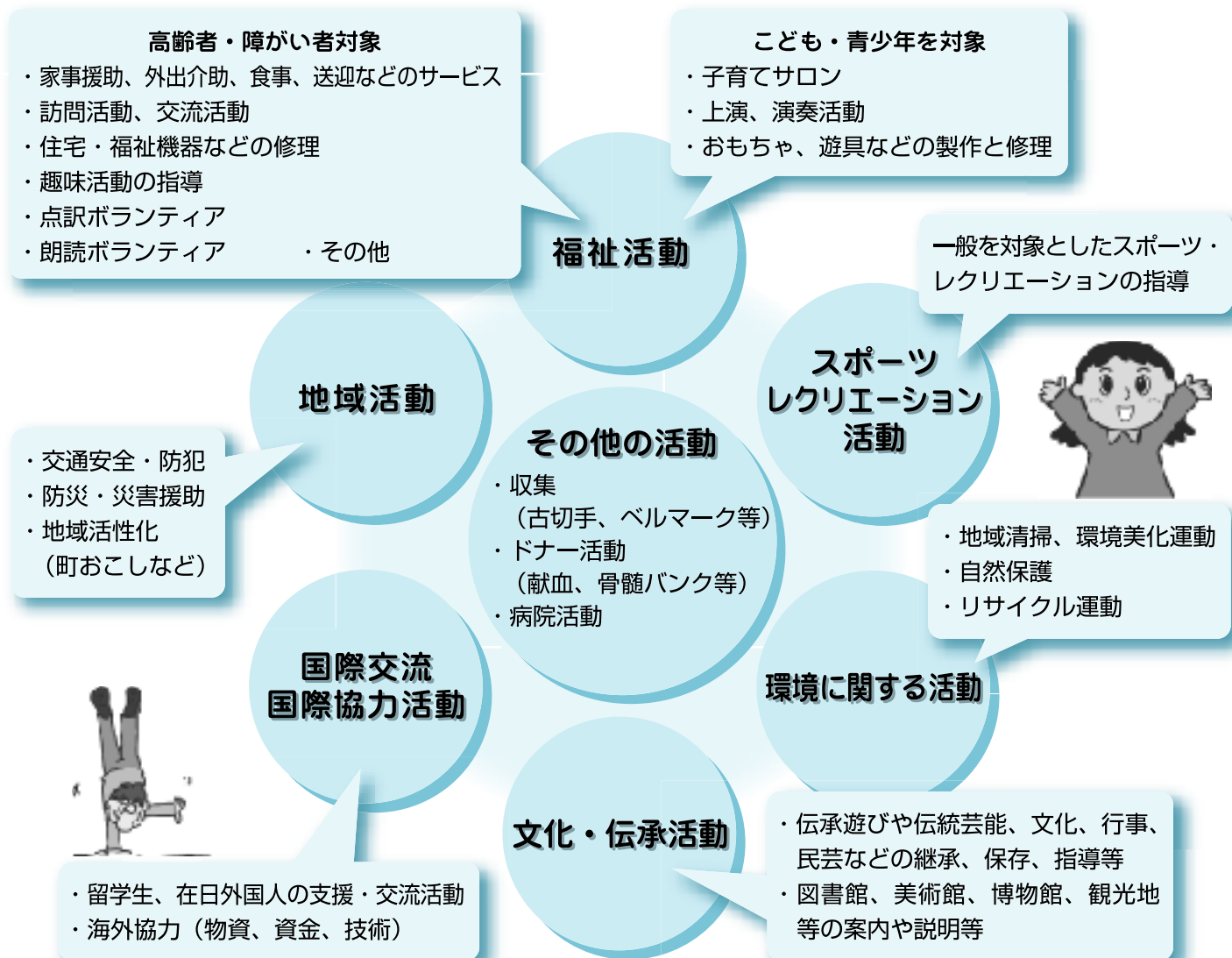
やってみようボランティア！

ボランティア活動ってどんな活動？

さまざまな問題についてその解決や支援のために、自分の意志に基づいて自発的に参加し、社会的な貢献につながるような活動をいいます。

ボランティア活動は、金銭的な報酬を期待して行うものではなく、活動を通して得られる出会いや発見、精神的な喜びなどが原動力になります。

ボランティア活動のご紹介



いまどきの若者は！・・・といわれるけれど

勉強・部活・塾・アルバイトと忙しい日々の中で、コツコツとボランティア活動をしている若者がいます。また、ボランティア活動を通して自分の進む道を探している若者もいます。そして、若者の居場所を作り、見守ってくれる人たちがいます。

子どもたちとふれあうボランティア活動

栄区ジュニアリーダーズクラブ

代表の野口雅史さんは、大学3年生です。この会は、現在会員10名（中学生1名、高校生4名、大学生5名）で自主的に運営されています。



南小菅ヶ谷こども会のみなさんと
いっしょに遊びました

目的

子ども会等でのリーダー活動を通して、自らが人間的・社会的に成長すること。

内容

リーダー研修、子供会派遣活動等。具体的には、子供会等からの依頼で行事に参加し、子どもたちといっしょに行事を楽しみます。夏は、上郷森の家でのバーベキュー大会、冬はクリスマス会等でリーダーとして活躍しました。

これからの活動

野口さんの望みは、中高生リーダーがもっと増えることです。仲間が増えれば、活動の輪が広がります。「たまには小学生に戻った気分楽しく活動しませんか」と話されました。



みんなで『手つなぎ鬼』をして、捕まえられないように一生懸命走りました

野口さんがこの活動に入ったきっかけは、小学生の時に会ったリーダーたちが、とてもやさしかったからだそうです。野口さんは、将来教師になりたいという大きな夢を持っています。中学から大学までリーダーとしていろいろな経験を重ねている野口さんは、きっとやさしい思いやりのある先生になってくれることでしょう。

学生時代からのボランティア活動を通して 自分さがし

くでん学童保育所補助指導員をしている金子真弓さんは、お母さんが、幼稚園教諭をしていたこともあり、子どもに関わる仕事をしたいと漠然と思っていました。小学生の頃、音楽の先生から「リコーダーの音がとてもいいね」と言われ、それがきっかけとなって音大でフルートを学びました。また、高校時代の「フィールドワーク」という取り組みの中で、福祉に関心を持ちました。大学時代は出身中学校の吹奏楽部ボランティアとして後輩の指導にあたったこともあります。

きっかけ作りのお手伝い 金子さんは、自分の進路を決める時、周囲の人たちの言葉に影響を受けました。そこで今の子どもたちにも何かヒントのようなものが与えられたらと、この仕事に就きました。学童保育所では、お姉さんのような存在で子どもたちに親しまれています。

幸せだなと感じるとき 喜びや悲しみ、悔しさ等を子どもたちと共有できたときです。

これから 積極的に研修を受け、子どもたちのことをもっともっと学びたいと意欲的な金子さんです。



のどが潤いたでしょう？ お茶をどうぞ！



皆と遊ぶと楽しいね！

好きなことをやってもいいんだよ



今日のおやつは何かかな？



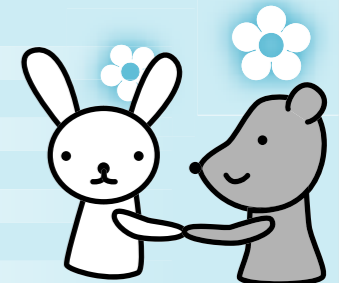
金子さんから 中高生の皆さんへ メッセージ！

ボランティア活動を通して、普段接することのない人たちと共に過ごす機会を持ってみませんか。また、失いかけているおらかな気持ちや元気を取り戻したいと思いませんか。

ボランティア活動は、そんなあなたの心を元気にしてくれます。そして、学校では教えてくれない何かをきっと見つけることができますよ。

ボランティア活動のご相談はこちらへ！

栄区ボランティアセンター	☎ 045(894)8521
笠間地域ケアプラザ	☎ 045(890)0800
桂台地域ケアプラザ	☎ 045(897)1111
小菅ヶ谷地域ケアプラザ	☎ 045(896)0471
豊田地域ケアプラザ	☎ 045(864)5144
中野地域ケアプラザ	☎ 045(896)0711
横浜市ボランティアセンター	☎ 045(201)8620
横浜市市民活動支援センター	☎ 045(223)2666
かながわボランティアセンター	☎ 045(312)1121



内線 3241 ~ 3244

青少年のための自由なたまり場

フリースクウェア



土曜日の午後6時30分、本郷小学校の体育館の中からにぎやかな声が聞こえます。中では若者たちが、バドミントンやバスケットボール、バレーボールに夢中です。

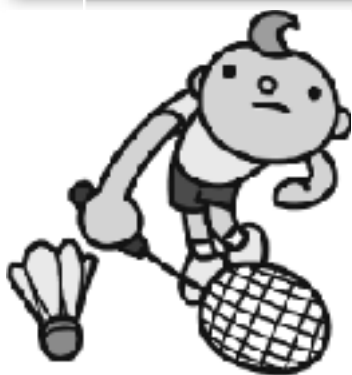
『プログラムは決めず、当日参加するかどうか、体育館で何をするのかもまったくの自由。気が向いたら体育館に来て名前を書き、後は思い思いに体を動かします。』

いつも25名前後の人が集まり、コートをどのように使うかなど、お互いに話し合っていて決めています。知らず知らずの間に社会性が身につきます。友だちを誘いあうので毎回新しい参加者が増えています。』(有友さんの話)



いっしょに運動しませんか！
汗を流すといい気持ちですよ！

まず名前を書きます



来るようになったきっかけは、地元でのキャンプで知り合った友達に誘われたから。小学校からずっと別々の学校ですが、今はここでつながっているんです。

Tさん、大学生

**バドミントンをしている
学生さんに聞きました。**

いつも汗をいっぱいかいて気持ちがいいです。体がなまらないのがいい。体が動く限り来たいです。

Kさん、中学3年生から来ていて、現在専門学校生

代表の有友フユミさんは、青少年指導員です。青少年に健全なたまり場を提供したいと「フリースクウェア」を始めました。取材中、有友さんに「今日は何人くらい来てる？」と学生からメールが届きました。子どもたちの近況報告などもメールで来るそうです。スポーツドリンクを飲みながらのおしゃべりタイムは、若者とお母さんボランティアとの楽しい時間です。

「皆さん、町ですれ違ったりすると『こんにちは！』と声をかけてくれるんですよ。うれしくなります。」そんな話をしてくれた有友さんとその仲間のボランティアさんたちが、青少年を優しく見守ってくれています。本当に頼りになるお母さんたちです。

参加希望者は、直接会場へ

開催日：第2、4土曜日
午後6時30分
～7時30分

会場：本郷小学校体育館

取材を終えて…

若者が、ふらっと来て受け入れてくれる場所は、殆どありません。でも、フリースクウェアには好きな運動や友人との語らいに熱中している若い人たちがいます。

このような場所が、あちらこちらにできるといいなあと思いました。(N)